

今月の特集テーマ	2p
イベントのお知らせ	2~3p
蔵書点検休館のお知らせ	2p
レファレンスサービスを知っていますか？	2p
よんでみませんか？	4p
文庫からの手紙	4p
リクエストの多い本	4p
あたらしくはいった本	5~8p
別冊付録 はびきの電子図書館	



(1)

今月の特集テーマ

中央	【一般】ゴールデンウィークにやってみたいこと 【児童】おでかけしよう！ 【特集1】あなたの”はじめて”の本おしえて 【特集2】おかあさん 【特集3】歴史のミステリーと池波正太郎
陵南	【一般】昭和 おぼえていますか？ 【児童】たんじょうびの本
東部	グリーン／グリーン
古市	【一般】“写真”の本 【児童】きょうりゅう展
羽丘	明日も頑張ろう
丹比	こどもの日・母の日、ついでに父の日

図書館で映画を楽しもう わくわくドキドキ☆ ムービーシアター

日時 5月25日（日）14時～
場所 LICはびきの映像セミナー室
上映作品

『サブウェイ123激突
（吹替版・106分）』

申込 5月1日（木）～5月24日（土）
中央図書館に来館・電話または図書館ウェブ
サイトに受付

※来館・電話でのお申し込みは、中央図書館
の開館中をお願いします。
下記の休館日にもご注意ください。

蔵書点検にともなう

休館のお知らせ

市立図書館では、蔵書点検および資料の整理等を行うため、
下記のとおり休館させていただきます。

休館中の本の返却はブックポストをお願いします。

（CD・DVD等はいれなくてください）

①中央、古市図書館の休館

5月20日（火）～23日（金）、5月28日（水）～30日（金）

②陵南の森、羽曳が丘、丹比、東部図書館の休館

5月24日（土）～30日（金）

③ブックステーションはびきのコロセアムの休館

5月29日（木）

※返却期限日が蔵書点検期間中にあたる場合は3週間（一部は4週間）の貸出となります。

※5月28日（水）はシステムメンテナンス実施のため、ウェブサービス・

電子図書館も休止となります。

羽曳野市立中央図書館イベント

あなたの “はじめて”の本 おしえて

はじめて買った本、はじめて読んだ本、はじめて感動した本
“はじめて”の思い出がまった本を紹介してください。
はじめて〇〇した作品ならどんな本でもOKです。
どなたでも参加していただけます。イラストも可。

期間：令和7年4月1日（火）～5月18日（日）

紹介してもらった本は6月に雑誌コーナーで特集します。



レファレンスサービスを知っていますか？ ②

Q：題名はわからないけれど、昔読んだ子どもの本で、男の子がホタルブクロの花をたくさん摘んで女の子にプレゼントする話を探しています。話のどこかにカルピスが出てきたのを覚えています。

A：『大きい1年生と小さな2年生』 古田 足日／作 偕成社

花のプレゼントだけでは特定が難しいですが、ホタルブクロが決め手になり、見つけることができました。

子どものころに読んでもらった絵本、ぼんやりとおはなしは覚えているけれど題名がわからない。

話題の映画やドラマの原作が読みたいけれど、インターネットで検索しても出てこない。

昔読んだ本、もう一度読みたいんだけど、中に出てくる歌の一部しか覚えてない。

こんな時は、一度図書館に相談してみませんか？

2025年6月開講



おはなし会ボランティア入門講座

～おはなしと本を子どもたちに～

おはなし（ストーリーテリング）や絵本を聞いている子どもたちの目は、輝いています。おはなしで語る昔話には、成長する子どもの姿が描かれています。おはなし会で、子どもたちといっしょに、おはなしや絵本の世界をたのしみませんか？

講師 「おはなしの森」のメンバー

“おはなしの森”は、毎月第1月曜日に峰塚公園管理棟（時とみどりの交流館）で、おはなしや絵本の勉強会を開き、市内の図書館や小学校・幼稚園などに出向いて、おはなし会をしているグループです。

日時 全4回の連続講座です（全国とも参加を原則とします）

- 第1回 6/4（水） 子どもたちにおはなしを語る
 - 第2回 6/11（水） おはなしを選ぶ・覚える・語る
 - 第3回 6/18（水） 子どもたちに絵本をとどける
 - 第4回 7/2（水） おはなしにチャレンジ（受講生の実習）
- いずれも午前10時15分～正午まで

場所 中央図書館 多目的室（LICはびきの 地下1階）

定員 10人（先着順・定員になりしだい締め切ります）

申込 4月1日（火）午前9時より、図書館ウェブサイトにて先行受付
4月8日（火）午前10時30分より中央図書館にて受付（電話可）
お問い合わせ先 羽曳野市立中央図書館 072-950-5501

主催：羽曳野市立図書館 羽曳野市子ども文庫連絡会・おはなしの森

まもなく定員になります！お申し込みはお早めに！

第12回

おはなしボランティアグループ「はびきの」

大人のおはなし会

日時：2025年6月14日（土）

午後2時開演

会場：陵南の森公民館 2階 視聴覚室

プログラム

- 素話 『老いるということ』
- 素話 『きつねのたなばたさま』
- 紙芝居 『善光寺』
- ブラックパネルシアター 『くもの糸』他

主催：おはなしボランティアグループ「はびきの」

協力：羽曳野市立陵南の森図書館

お問い合わせ先：羽曳野市立陵南の森図書館

072-952-2750



☐子どもの本寄贈のお願い☐

羽曳野市では、「子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの読書環境を整えるための様々な活動を行っています。その一環として、5月には陵南の森図書館にて「こどもの本ゆずります！PASS THE BOOK FES」イベントを実施する予定です。

皆様のご家庭に、お譲りいただける児童書・絵本などがありましたら、最寄りの図書館までお持ちくださるようお願いいたします。提供していただいた本は、同イベントに使用するほか、図書館・市内の学校園などの公共施設で活用させていただきます。

こどもの本ゆずります！ PASS THE BOOK FES

日時 5月18日（日）

10：30～12：00（未就学児とその保護者）

11：00～12：00（小学生～高校生）

13：30～15：00（どなたでも可）

場所：陵南の森公民館 2階研修室1・2

4月19日（土）～5月18日（日）の期間に、陵南の森図書館で資料を3点以上借りると交換券を1枚お渡しします。交換券1枚で本などの資料を1点お持ち帰りいただけます。

↑おはなし会もあるよ！

リクエストの多い本 2025年4月19日現在

このリストは、羽曳野市の全ての図書館で現在お待ちいただいている人数の合計です。
非常に人気のある本の場合、お申し込みされてから順番が回ってくるまでに
数ヶ月以上かかることがあります。予約されるときは、あらかじめご承知おきください。



順位	書名	著者	出版社	待ち人数
1	架空犯	東野 圭吾	幻冬舎	130
2	カフネ	阿部 暁子	講談社	99
3	成瀬は天下を取りにいく	宮島 未奈	新潮社	79
4	謎の香りはパン屋から	土屋 うさぎ	宝島社	62
5	藍を継ぐ海	伊与原 新	新潮社	60
6	人魚が逃げた C線上のアリア	青山 美智子	PHP研究所	52
		湊 かなえ	朝日新聞出版	52
8	禁忌の子	山口 未桜	東京創元社	51
9	恋とか愛とかやさしさなら	一穂 ミチ	小学館	44
10	月収	原田 ひ香	中央公論新社	38
11	アルプス席の母	早見 和真	小学館	36
	逃亡者は北へ向かう	柚月 裕子	新潮社	36

★リクエストカードを出される方へお願い★

電話連絡をご希望の方は、図書館の開館時間中に連絡のつく番号を書いてください。
連絡が取れない場合、順番が遅くなったり、予約キャンセルとさせていただきます。



◆子ども文庫とは、自宅や集会所などで開かれている、私設の小さな子ども図書館のことです。

◆このコーナーでは、市内の子ども文庫からのお知らせ、羽曳野市子ども文庫連絡会の皆さんによるおすすめの本などを毎月掲載しています。



よんでみませんか？

『海時計職人ジョン・ハリソン 船旅を変えたひとりの男の物語』

ルイーズ・ボーデン文 エリック・ブレグバッド絵 片岡しのぶ訳 あすなろ書房

18世紀のイギリスにジョン・ハリソンという男がいた。ジョンは、小さな村の大工の息子として生まれた。村に学校がなかったので、読み書きは父親に教わった。しかし、ジョン少年には燃えるような向学心があった。

その頃、大海原を旅した探検家たち(コロンブスやマゼランなど)は、自分の船が赤道から北または南へどれくらい離れているか(緯度)は知ることができたが、出発した船が西または東のどこにいるのか(経度)を正確に知ることはできなかった。

そこで、イギリスの議会は「経度を測定する方法を見つけた者に2万ポンドを与える」と決めた。ジョンはすぐにこの難問に挑み始め、5年をかけて最初の海時計を完成させた。ところが、これが航海に役立つことは認められたが、賞金を手にすることはできなかった。

この後、ジョン・ハリソンはどうしたのだろうか？ 賞金を手にすることはできたのだろうか？ ジョン・ハリソンが一生をかけて「海時計」作りにいどんだ物語。美しい挿絵で、18世紀のイギリスの暮らしを知ることできる。(11歳以上)

文庫に、新しい絵本16冊が仲間入りしました。
その中でわたしの一番のお気に入りをご紹介します。

文庫からの手紙 ～ひかり文庫～

『ここがわたしのねるところーせかいのおやすみなさいー』

レベッカ・ポンド文 サリー・メイバー作画 まつむらゆりこ訳 福音館書店

この絵本は、世界各地の子どもたちが眠りにについているのはどんなところなのかを、心地よいことばと、みごとな作画で表されています。さし絵ではなくてなぜ作画かというと、絵に見えるところは全て刺繍なのです。それぞれの場面を仕上げるのに1～2か月かかり、2年をかけて仕上げられたそうです。細かな手刺繍の美しさと添えられたことばの美しさで、愛情あふれる一冊になっています。

かつて日本で使われていた蚊帳を使っている国もあります。さて、どこの国でしょうか？
ぜひ、手に取ってお楽しみください。

